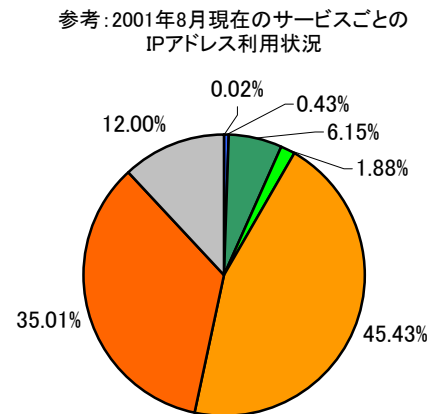
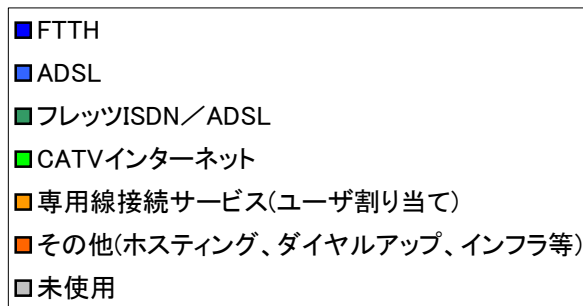


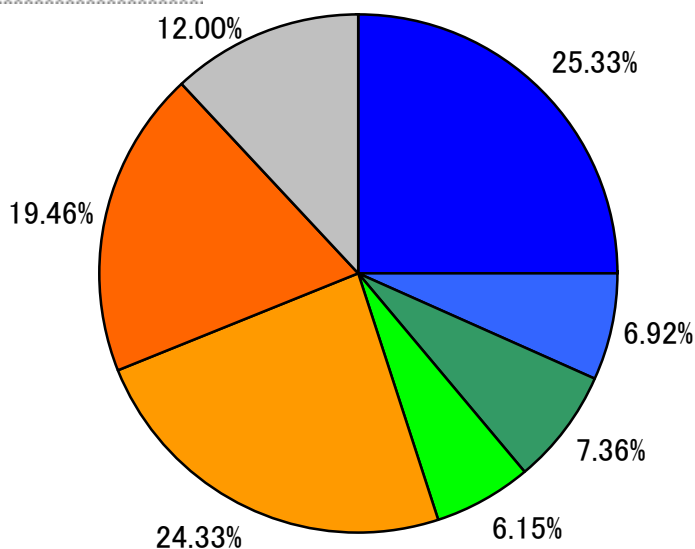
1年後・2年後の各サービスの占める割合

・8月14日までいただいた回答を元に作成した結果です。

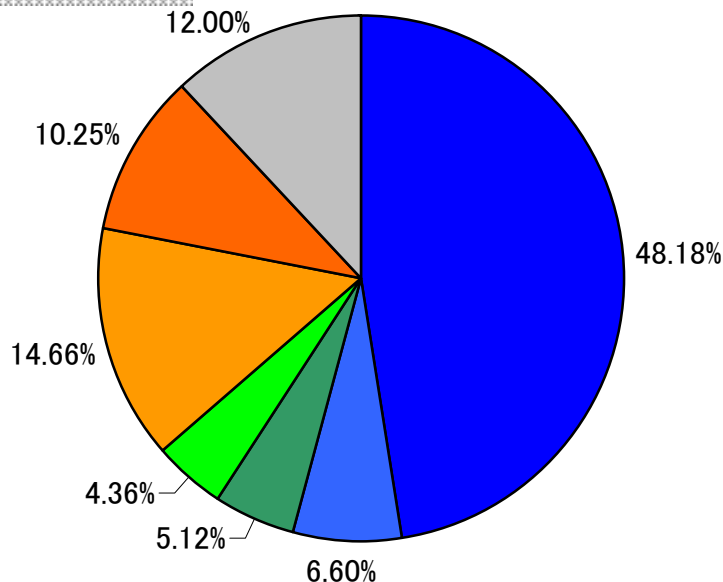
有効回答： 274指定事業者中89件(回答率32.5%)
JPNICの全委任アドレスブロックに占める割合43.4%



1年後(2002年8月)



2年後(2003年8月)



(注意1) 1年後・2年後の予測のアンケートでは、指定事業者の「ユーザ割り当て」として報告してあるものについても、ISPIにて把握できる範囲で常時接続系サービスに分類できるものは各サービス項目に含まれていますが、現割り振りアドレス利用状況調査では、各指定事業者の「インフラ」として報告のあったアドレスが調査対象となっております。これは「ユーザ割り当て」中の常時接続系サービスの分類が困難なためです。そのため、現在(2001年8月)の「専用線接続サービス」に分類されているものの中には、アンケートの回答では、常時接続系サービスと分類しているものが含まれている可能性があります。

(注意2) このグラフは各サービスごとの利用割合を示すものであり、円の大きさに意味はありません。

(注意3) 「未使用」については、現割り振りアドレス利用状況調査の対象となった指定事業者における未使用分の割合を算出し、今後の予測値においても同じ割合での未使用分が発生するだろうという予測のもとに、1年後2年後のアドレス数にも同じ割合で未使用分を加算しました。IPアドレス管理業務上、常時、割り振りブロックの10~20%程度の未使用分が存在するものと考えられますが、今後さらに調査を進めていく上で若干数値が変わってくる可能性があります。